

2026年6月期 第2四半期(中間期)



決 算 補 足 説 明 資 料

JAPAN CRAFT
HOLDINGS

証券コード:7135

2026年2月13日

2026年6月期 第2四半期決算のポイント

小売事業

店舗数減少も一店舗売上は増加、
順調に增收・増益

出版・
教育事業

マクロ的な出版不況により減収・
赤字拡大、抜本的改革に着手済

中計施策
取組状況

商品・サービス拡充、
構造改革推進

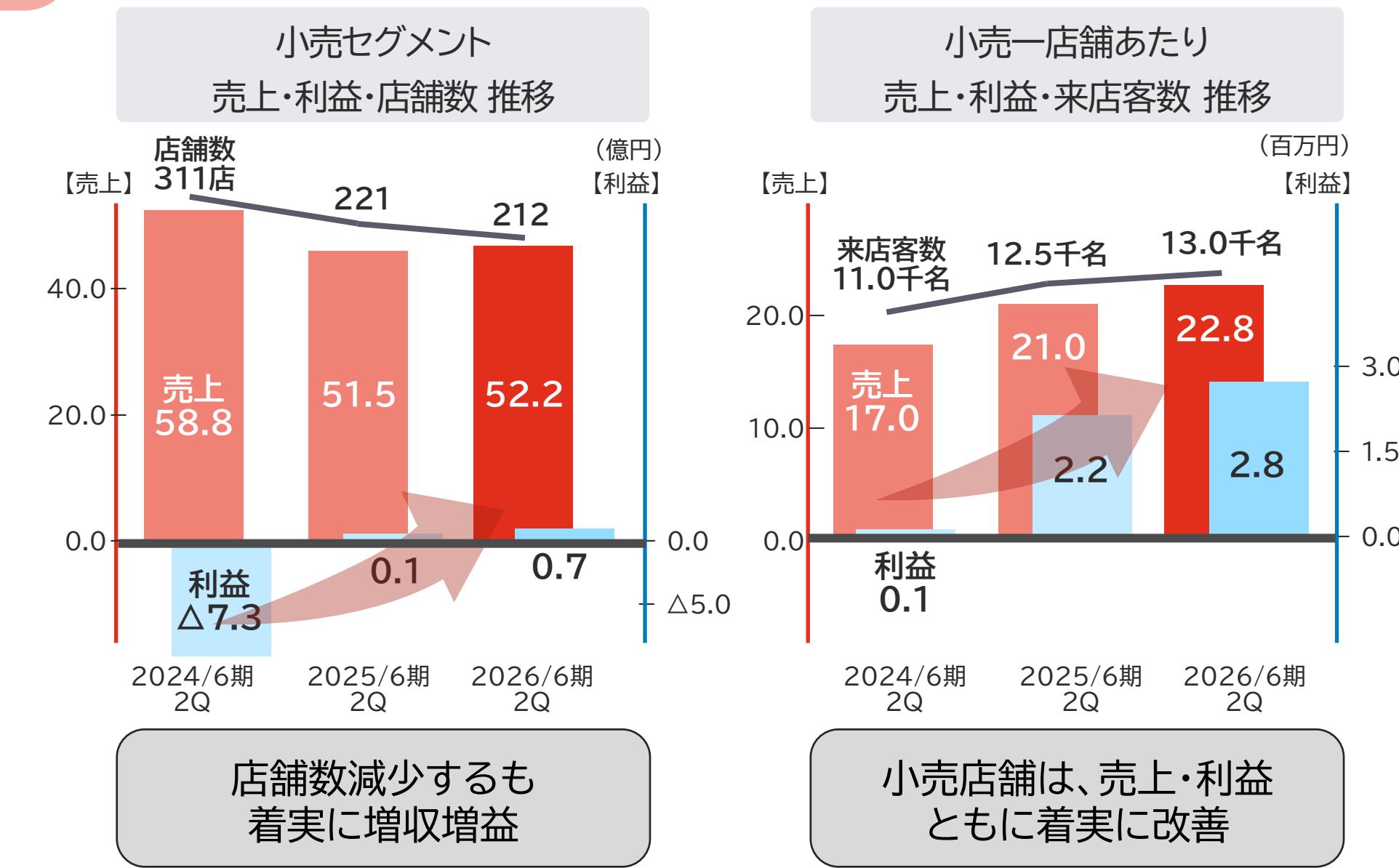
- 通期黒字化へ向け堅調に推移
- 夏季閑散期含め通年単月黒字化実現へ向け、更なる経費圧縮・赤字事業撤退を推進

業績推移

(百万円)

	2024/6期		2025/6期		2026/6期	
	2Q	通期	2Q	通期	2Q	通期見込
売上	7,434	15,393	6,714	14,045	6,662	14,598
営業利益	△944	△1,592	△131	65	△130	334
当期利益	△1,240	△2,091	△361	△257	△149	178

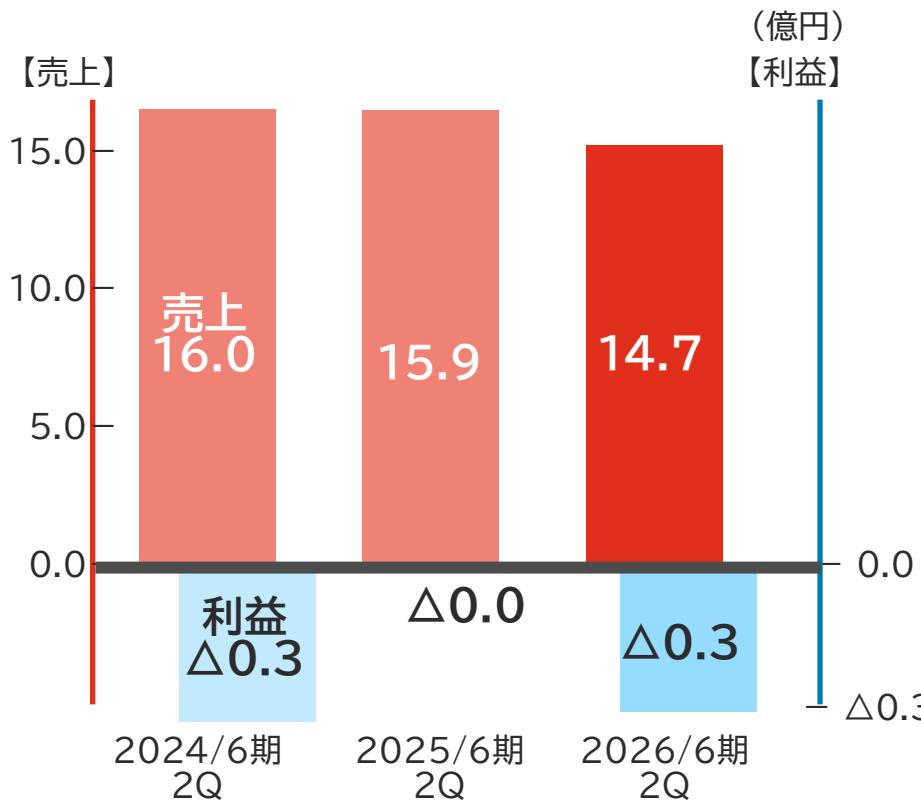
2026年6月期 第2四半期決算のポイント ~小売セグメント



2026年6月期 第2四半期決算のポイント～出版・教育セグメント

出版・教育セグメント

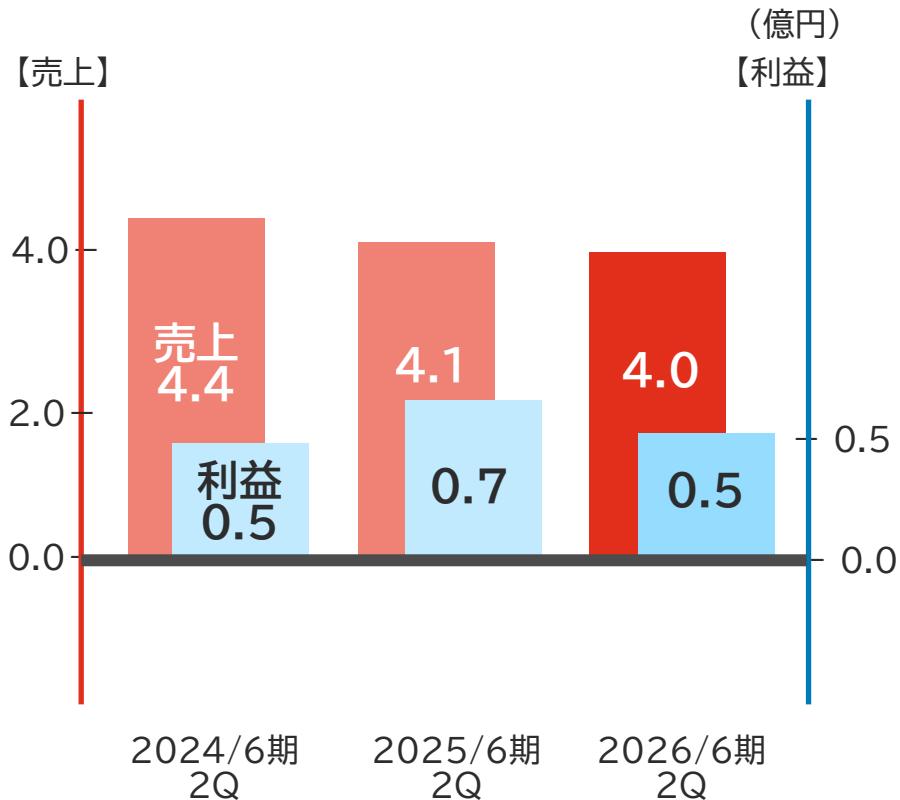
売上・利益推移



抜本的構造改革に着手済
新たな販路拡大も検討中

出版部門

売上・利益推移



編み物ブームは継続するも、
紙媒体市場縮小に伴い苦戦

1. 中間期決算説明

2. 各社取組みについて

3. 2026年6月期業績予想

5. Appendix

2026年6月期 中間期決算概要

JAPAN CRAFT
HOLDINGS

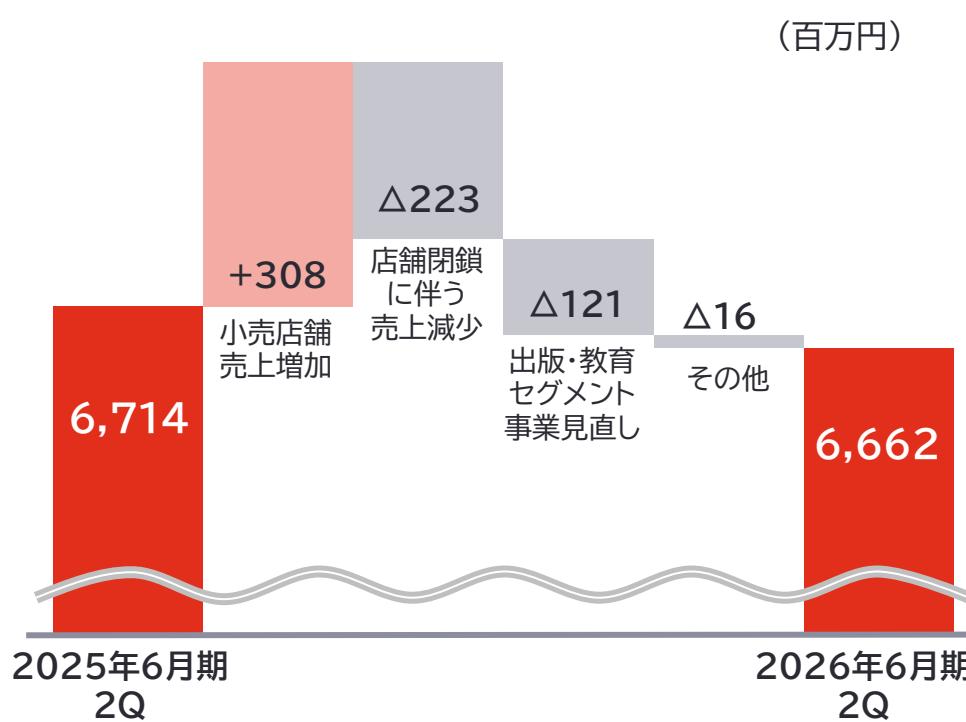
(百万円)

	2025年6月期		2026年6月期		
	中間期	通期	中間期	前期差	通期予想
売上高	6,714	14,045	6,662	△ 52	14,598
売上総利益	3,874	8,067	3,763	△ 110	8,465
粗利率	57.7%	57.4%	56.5%	△1.2%	58.0%
販売管理費	4,005	8,001	3,894	△ 110	8,130
営業利益	△ 131	65	△ 130	0	334
経常利益	△ 158	4	△ 157	1	262
当期純利益	△ 361	△ 257	△ 149	212	178

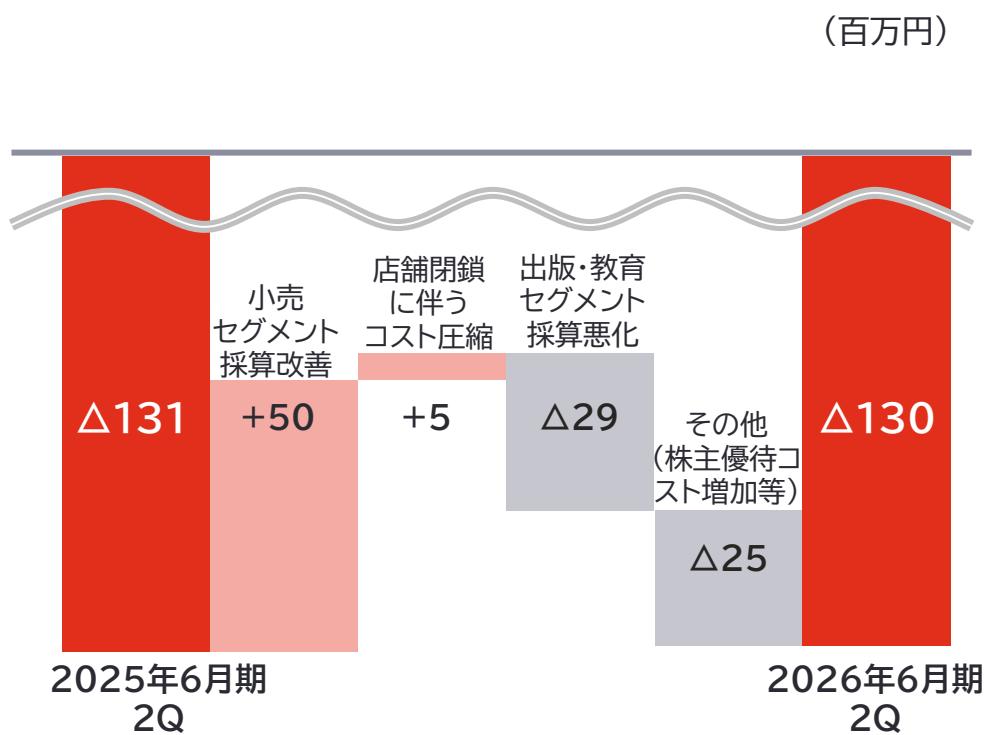
売上高・営業利益増減要因分析

- 小売セグメントは売上拡大、採算も改善
- 出版・教育セグメントは事業見直しに伴い減収・減益

売上高の増減要因



営業利益の増減要因



連結貸借対照表

(百万円)

	2025年6月期	2026年6月期 中間期	増減額	主な増減要因
流動資産	7,624	8,038	413	
現金及び預金	2,304	2,429	124	+有価証券売却益による収入等
棚卸資産※	3,910	4,123	213	+編み物関連、ミシン、各政策強化による在庫仕入等
その他の資産	1,410	1,485	74	
固定資産	3,930	3,917	△ 12	
有形固定資産	2,987	2,989	2	
無形固定資産	42	50	8	
投資その他の資産	900	877	△ 23	
資産合計	11,555	11,955	400	
負債合計	7,860	8,524	664	
流動負債	5,639	6,261	621	+短期借入金の増加等
固定負債	2,220	2,263	42	
純資産合計	3,694	3,430	△ 263	△当中間期損失計上による利益剰余金の減少 及び配当金の支払
負債・純資産合計	11,555	11,955	400	

※ 棚卸資産：商品及び製品、仕掛品、貯蔵品の合計

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2025年6月期 中間期	2026年6月期 中間期	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 669	△ 406	・税金等調整前当期純損失 114百万円 ・棚卸資産の増加 213百万円 ・未払金の減少 105百万円 ・仕入債務の増加 284百万円 ※通期大幅改善見込も取適法対応負担大
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 160	△ 5	
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,613	536	・短期借入金の増加 500百万円
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	784	124	
現金及び現金同等物の期首残高	1,882	2,279	
現金及び現金同等物の期末残高	2,666	2,404	

※ 2026年2月 金融機関4行とシンジケートローン締結(総額27億円、期間最長6年。既存契約は終了)

1. 中間期決算説明

2. 各社取組みについて

3. 2026年6月期業績予想

5. Appendix

中計(～2028/6期) 小売セグメント戦略

- これまでの店舗モデルを再定義し、未来の成長に向けた事業モデルへの変革
- 新モデル店舗開発により客層を広げ、新規顧客とのタッチポイントを増やすことで市場規模を拡大する

1 顧客接点の再構築

- 新規出店による収益機会の創出

2 店舗モデルの進化

- 物販から体験型の店舗モデルを構築

3 収益性の向上

- 他社とは差別化したオリジナル商品の開発強化



顧客接点の再構築

- ✓ 全国網羅的な顧客接点を得るべく、未出店地域への出店(中計期間中10店舗程度)
- ✓ IP新コンテンツの導入による新規顧客層の取り込み
- ✓ BtoBによる新規顧客層との出逢い

店舗モデルの進化

- ✓ ワークショップ強化による新規客獲得とリピーター確保
- ✓ 店舗改装による新規顧客層の取り込みとリピーター確保(中計期間中40店舗程度)
- ✓ 企画商品(インフルエンサー、キャラクター)の開発強化

収益性の向上

- ✓ 他社とは差別化したオリジナル商品の開発強化
- ✓ 市場リサーチによる価格の最適化
- ✓ グループ共同仕入等による粗利向上

店舗とECの連携

- ✓ データを活用したOMO(Online Merges with Offline)推進し、お客様一人ひとりの好みに合わせた情報をお届けし、欲しいものがすぐに見つかる、ストレスフリーな買い物体験を提供



商品開発強化

人気キャラクターや企業とコラボレーションした生地を発売
SNSでは発売記念プレゼントキャンペーンを実施、手芸の裾野拡大につなげる

店頭講習会強化

初心者向けの編み物講習会を開催
講習会を定着させ、コト体験に特化した新たな店舗モデルの確立を目指す



編み物イベント開催

2025年12月に編み物を持ち寄って楽しむ「編み会」イベントを開催、毛糸の販売や人気ニット作家「Nagi's Knit」凧さんのトークショーも実施
前期に引き続き編み物関連商品は好調に推移

商品価格適正化

収益性向上に向けて、市場リサーチにより適正価格を検証、順次商品価格適正化を実施
さらに割引制度の見直しにより粗利を確保

中計(～2028/6期) 出版・教育セグメント戦略

- 伝統的な手づくりの世界にデジタルを融合、顧客体験の向上・業務効率化・収益性向上を目指す
- 『手芸検定』等新たな取り組みを通じ、新たな手芸ファンを創出

1 顧客体験の向上

- EC事業本格化
- オンライン事業黒字化

2 業務効率化

- データドリブン経営の強化
- クラウド配信ビジネス構築

3 収益性の向上

- 受講生獲得強化
- 原価増への対策強化



EC事業の本格スタート

- ✓ ECサイトをリニューアル、従来の商品・サービスのショッピングサイトから「手づくり」の楽しさ・魅力・物語などをお伝えするメディアサイトへ
- ✓ オンライン事業強化、黒字化へ

新入生獲得強化

- ✓ スクラップ＆ビルトを進め、新講座はリアル+オンラインで120講座をリリース、曜日ごととらわれないフレキシブルな短期集中講座も20講座以上を展開
- ✓ 手芸検定スタート(第1回は2026年1月25日実施決定)

収益性の向上

- ✓ 事業別構造改革実施固定費削減
グループ内連携しSCM等見直し、原価圧縮
- ✓ 新たな有料会員制度の設置

受講生満足度向上

- ✓ 講座内作品発表会を恒常的に実施
- ✓ 教室の様子をSNSで発信し受講生同士のコミュニティ形成を後押し
- ✓ 講師やグループ作品展の支援と告知を強化

各社取組み 出版・教育事業



自社ECサイトリニューアル

「手づくりと生きる、を新しく」をコンセプトに2025年10月に自社サイト「手づくりタウン」をリニューアルオープン
ショッピングだけでなく、「読む・知る・学ぶ・楽しむ」がひとつになったメディアサイトへと進化

▼ 手づくりタウン

<https://www.tezukuritown.com/nv/>

構造改革推進

構造改革に向けた専担部署を設置
収益性の向上に向け、生協事業からの撤退等事業見直しや業務効率化を推進
抜本的な構造改革を目指す



受講生獲得強化

10月の新規受講生獲得に向け、全校で見学会と講座の体験会を実施



「手芸検定」公式テキスト発売

あみもの・刺しゅう・ソーイングの基礎知識を、クイズ感覚で学べるエンターテインメント型検定を主催

2026年1月の検定開催に向け、2025年9月に公式テキストを発売、重版となり好調

1. 中間期決算説明

2. 各社取組みについて

3. 2026年6月期業績予想

5. Appendix

2026年6月期業績予想 ~最終黒字計上へ~

- 主力の小売事業は安定的に利益計上
- 新中期経営計画のもと、新たな手芸ファン獲得へグループ各社施策推進、最終黒字計上へ

(単位：百万円)

2024年6月期		2025年6月期		2026年6月期			
	実績	構成比		実績	構成比	通期予想	構成比
						前期差	前期比
売上高	15,393	100.0%		14,045	100.0%	14,598	100.0%
売上総利益	8,308	54.0%		8,067	57.4%	8,465	58.0%
販売管理費	9,901	64.3%		8,001	57.0%	8,130	55.7%
営業利益	△ 1,592	-		65	0.5%	334	2.3%
経常利益	△ 1,665	-		4	0.0%	262	1.8%
当期純利益	△ 2,091	-		△ 257	-	178	1.2%
						435	-

1. 中間期決算説明

2. 各社取組みについて

3. 2026年6月期業績予想

5. Appendix

会社概要

商号	ジャパンクラフトホールディングス株式会社 (JAPAN CRAFT HOLDINGS CO.,LTD.)
設立	2022年1月4日
資本金	1億円
代表取締役	堀 孝子
本社所在地	愛知県名古屋市名東区高社一丁目210番地
事業内容	子会社等の経営管理及びこれらに附帯又は関連する一切の事業
上場取引所	東証スタンダード、名証プレミア(コード:7135)

グループ会社



グループ経営理念

「手づくり」を通して豊かな心を育み幸せを紡ぐ企業グループへ

グループ経営ビジョン

vision1.

私たちは、手芸の総合サポート企業として手づくり文化の裾野を広げます。

vision2.

私たちは、手づくりの喜びと幸せをあらゆる世代のお客様にお届けします。

vision3.

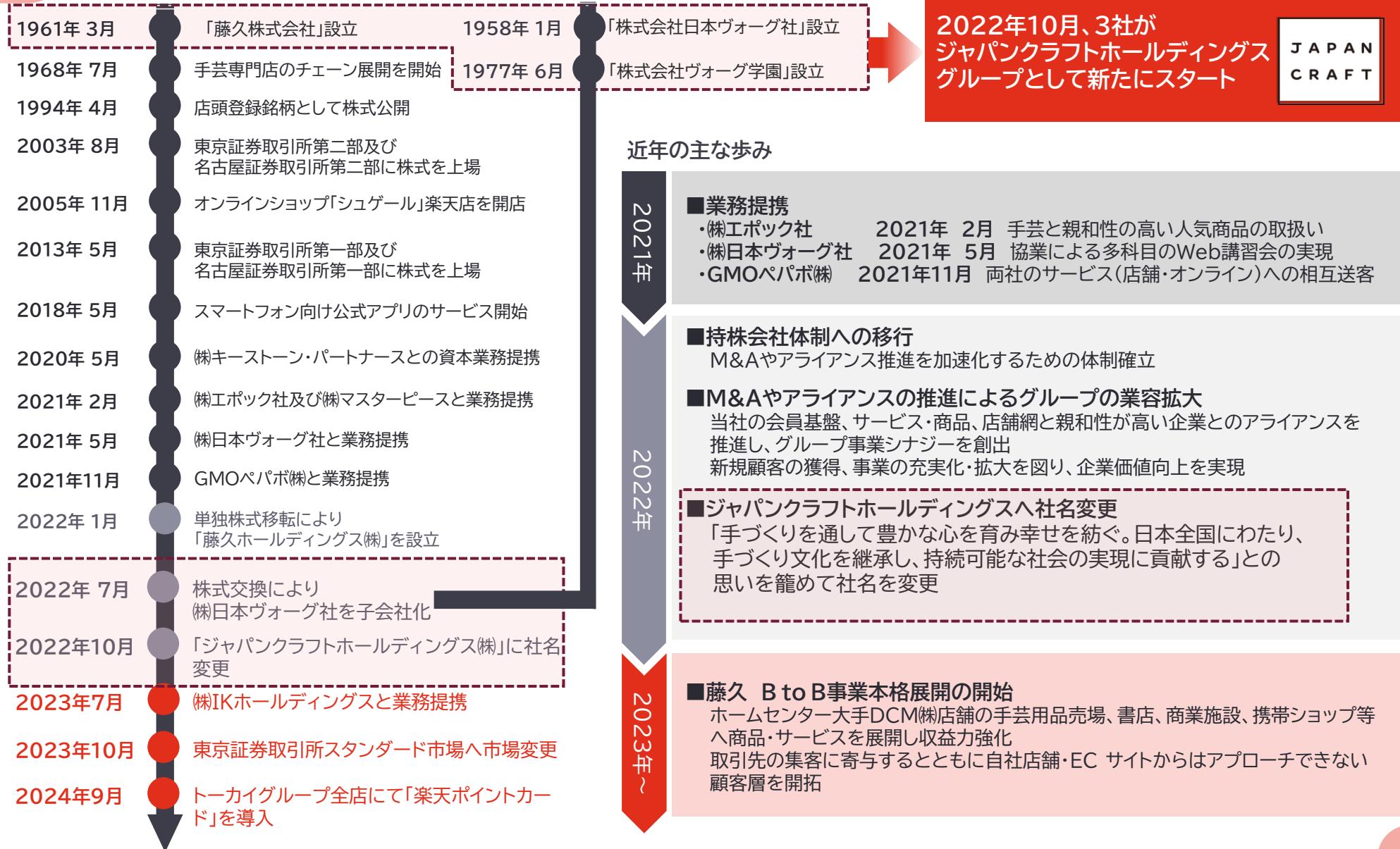
私たちは、手づくりのやさしさを次世代に繋げて持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

熱意 を持って、お客様の期待に応えよう
常にお客様視点を持つ

使命感 を持って、創意工夫と新たな挑戦を続けよう
今日より明日の成長

信用 を得て、誇れる企業グループへ育てよう
ステークホルダーからの信用維持



事業概要

小売事業

売上構成比

78.4%

手芸専門店
「クラフトハートトーカイ」を
中心に全国に店舗展開



出版・教育事業

売上構成比

21.6%

手芸・ハンドメイドに関する
出版、教育、通信販売
通信教育の事業を展開
カルチャースクール
「ヴォーグ学園」を全国4校
とオンラインで展開



店舗:手芸専門店
📍:ヴォーグ学園

【中部地方】
店舗:82店
📍:名古屋校

【中国地方】
店舗:18店

【九州地方】
店舗:16店

【北海道地方】
店舗:2店

【東北地方】
店舗:17店

【関東地方】
店舗:49店
📍:東京、横浜校

【近畿地方】
店舗:23店
📍:心斎橋校

【四国地方】
店舗:3店

【沖縄地方】
店舗:2店

※ 2025年12月31日時点

グループ経営理念・グループ経営ビジョン

経営
理念サステナ
ビリティ方針

経営ビジョン

行動指針

「手づくり」を通して 豊かな心を育み幸せを紡ぐ企業グループへ

手づくりの喜びと幸せをあらゆる世代のお客様にお届けし、手づくりを通して世代や地域を越えて人と人を結ぶお手伝いをするとともに、この尊い手づくり文化を継承し、地域社会・環境の持続可能な社会の実現に貢献します。

vision1. 私たちは、手芸の総合サポート企業として手づくり文化の裾野を広げます。

vision2. 私たちは、手づくりの喜びと幸せをあらゆる世代のお客様にお届けします。

vision3. 私たちは、手づくりのやさしさを次世代に繋げて持続可能な社会の実現に貢献します。

熱意 を持って、お客様の期待に応えよう 常にお客様視点を持つ

使命感 を持って、創意工夫と新たな挑戦を続けよう 今日より明日の成長

信用 を得て、誇れる企業グループへ育てよう ステークホルダーからの信用維持

本資料に関するご注意

本資料及び当社IRに関するお問合せ先

- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載された業績予想及び将来予測については、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含むため、将来の経営成績の結果を保証するものではありません。
- 実際の業績等については、環境の変化などにより、本資料における将来見通しと異なる場合がございます。
- 万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先

お問合せ先	ジャパンクラフトホールディングス株式会社 企画部
所在地	〒465-0095 愛知県名古屋市名東区高社一丁目210番地
TEL	052-725-8815
Email	ir@fujikyu-corp.co.jp
企業サイト	https://www.jcraft-hd.co.jp/